

ORGANIZATION AND HUMAN RESOURCES

価値創造を担う人材の確保・育成

タカラトミーグループの価値創造は、変化の激しい玩具市場を生き抜くための過去3回の改革をリードした人材によって成し遂げられてきました。世界10兆円規模に成長したおもちゃ市場は、デジタル技術の進化や日本のモノづくりにおける発想力によってさらに可能性が広がりつつあります。その中で私たちが次に目指すおもちゃづくりとは、単なるデジタル化ではなく、温かく、手触り感のあるアナログな商品開発のノウハウにデジタル技術を融合させること、さらにその商品が持つ世界観をブランドとして構築していくことです。

当社グループでは、この新たな価値創造のために、新入社員にもベテラン社員にも平等に商品企画の機会を提供するなど、あらゆる価値観を持つ人材がともに切磋琢磨し、ノウハウ・経験を共有し、失敗を恐れることなくチャレンジできる場の提供や仕組みづくりに取り組んでいます。



価値創造を担う人材の確保・育成

人材確保・育成における二つの方針

タカラトミーグループでは、「経営戦略としてのワークライフバランス」と「アイデア創出を促す職場活性策」の2つの方針を掲げ、企業価値創造を担う人材の確保・育成に取り組んでいます。当社グループにとってのワークライフバランスとは、仕事とプライベートを切り離すことではなく、ともに充実させることで相乗効果を目指すことです。つまり仕事以外の時間が増えることによって家庭参画が増え心身が健康になる、外部との積極的な交流で人脈づくりや自己研鑽が進み、仕事の効率性向上や企画力向上につながるなど「ワークライフインテグレーション」を意味しています。そして同時に、この仕事とプライベートの融合による期待効果を数々の職場活性策によって高めています。

経営戦略としてのワークライフバランス

タカラトミーグループでは、個人と組織が生み出す付加価値の最大化に向け、働き方の改革とワークライフバランスの実現に積極的に取り組んでいます。

2014年8月には「在宅勤務制度」を導入し、育児・介護により勤務時間に制約のある社員が、在宅で勤務できる仕組みを作り、モチベーションアップを図っているほか、育児・介護と仕事との両立を支援するセミナーを複数回実施しています。育児従事者向けには経験者を含む社内カウンセラー4名による相談体制も充実させ、育児休暇取得者の増加に加え、復帰率はほぼ100%を維持するなど、取り組みの成果が結実し始めています。

ワークライフバランス(WLB)への主な取り組み





価値創造を担う人材の確保・育成

またiPadを導入し、外部からのメールチェックやプレゼンテーション実施、テレビ会議への参加を可能とするなど、移動時間の有効利用やペーパーレス化を実現するモバイルワークを推進し、社員の業務効率アップにも取り組んでいます。さらに計画的に休暇を取得することによる心身のリフレッシュを目的としたリフレッシュ休暇に、誕生日や結婚記念日などのアニバーサリー休暇を加え、休暇取得の風土づくりなども推進しています。

**「リカちゃん」のパパが
「イクメン オブ ザ イヤー 2014」を受賞**

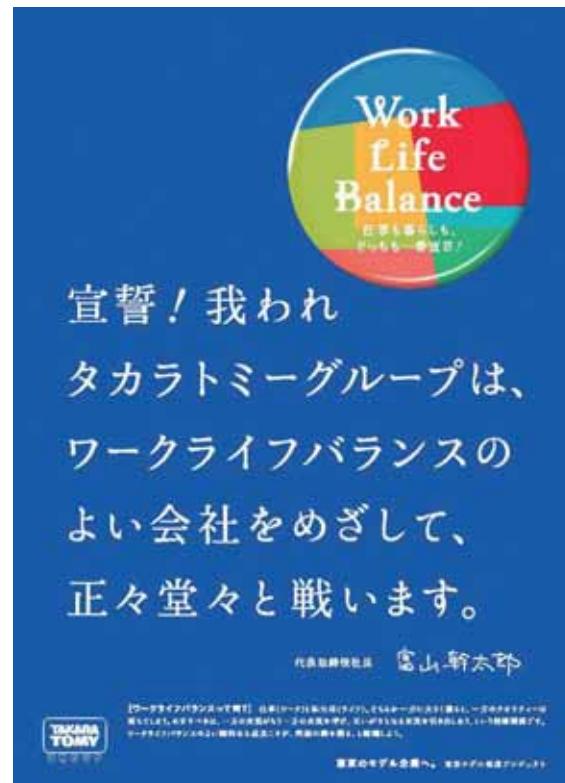
着せ替え人形「リカちゃん」のパパ「香山ピエール」が、今年一番育児を楽しみ・頑張ったパパとして、2014年10月16日に「イクメンオブザイヤー 2014」(イクメンキャラクター部門) を受賞しました。女性を子育てから解放し、男性の育児参加や育児休暇を啓蒙、推進するための同イベントは、イクメン オブ ザ イヤー実行委員会が、厚生労働省と厚生労働省委託事業イクメンプロジェクトの支援を受けて開催しました。

今回の受賞理由は、家族との時間を大切にし、子育てや家事に積極的に関わる香山ピエールの姿が評価されたものです。今後も、「ピエール」と家族の様子を、リカちゃんの公式ツイッター @bonjour_liccaなどを通して紹介し、育児に積極的に取り組みたいと考える男性とともに、育児や家族との関わりを考えるヒントやきっかけを提案していきます。









多様性を活かしアイデアを創出する職場活性策

当社では、所属部門や職位等に関わらず、幅広い社員が自発的にアイデアを創出することを目的とし、アイデア募集制度「TO¥SYSTEM」を2014年5月から導入しています。社内に応募箱を設置し、商品企画や業務改善提案を幅広く募集するとともに、応募者には社内通貨である「TO¥」を贈呈したり、企画提案を実現に結びつけることでモチベーションアップを図っています。



人材の活用・育成

社内の研修制度として、次世代リーダー育成や階層別研修、各種スキルの習得を目的とした研修を公募型を中心に実施しております。

また、発想力豊かな会社とするための企画研修や他社との共同実施による異業種企画研修などを実施しています。



TO¥SYSTEM



社員が自由に意見交換できるラウンジ

